

～ 第 53 回 ～

# 景気動向調査結果

－ 令和 6年 7月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和6年4月～令和6年6月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

# 景気動向調査集計結果

## 1 総論

売上高は全体的には前回比でほぼ横ばいとなっており、建設業、製造業、サービス業ではマイナス回答が多く、前回調査からの落ち込みが続いている状況となっています。

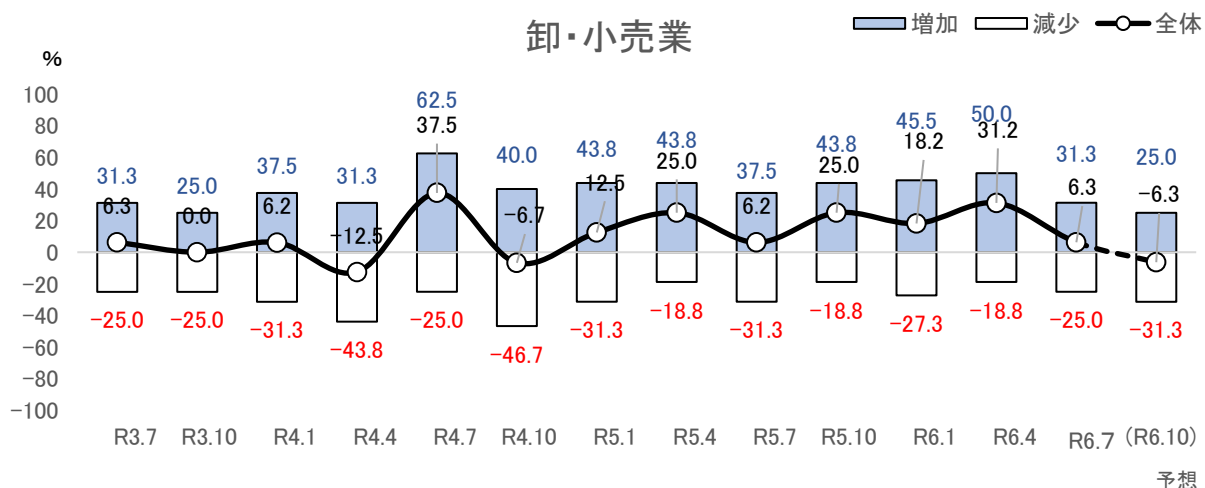
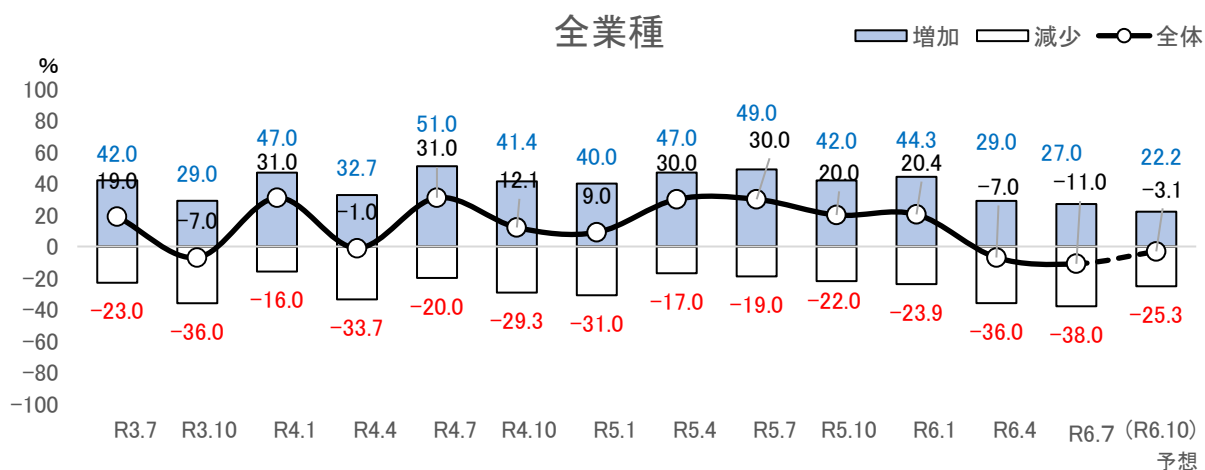
全てのコストで上昇回答が増加しており、また経営上の課題でも原材料や諸経費、人件費の増加が課題として多くあがっており、資金繰りにも影響が出てきています。

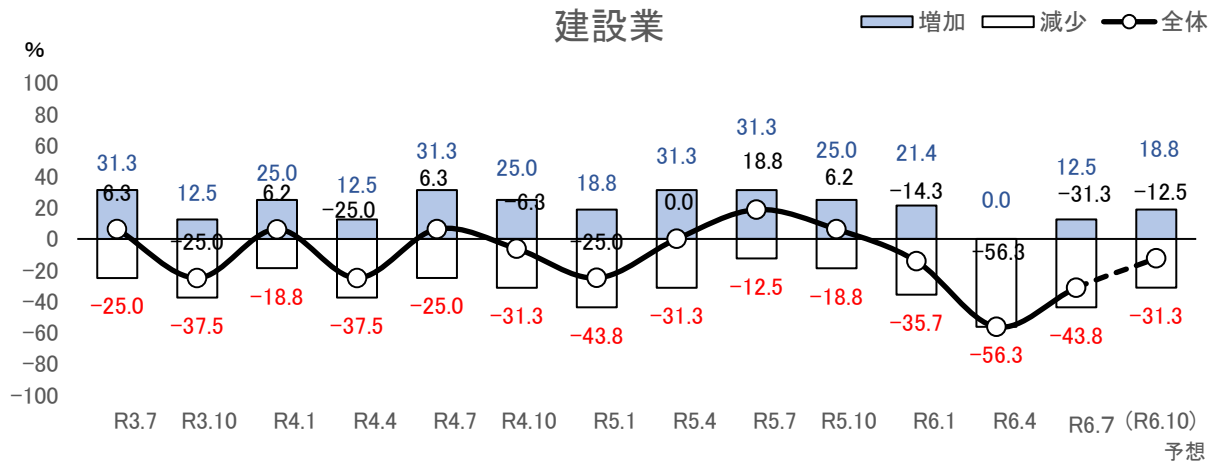
円安基調については、多くの事業者がマイナス影響をあげており、原材料、エネルギー等の価格上昇の影響を受けています。

設備投資については予定がある又は検討中の事業者が半数以上で、設備の入替、既存設備の補修の需要を中心に、一部では増産・販売力増強など生産性向上のための投資も見られます。予定がない事業者では、現状で充分という理由が多数ですが、先行き見通し不透明により導入を躊躇している状況などもあります。

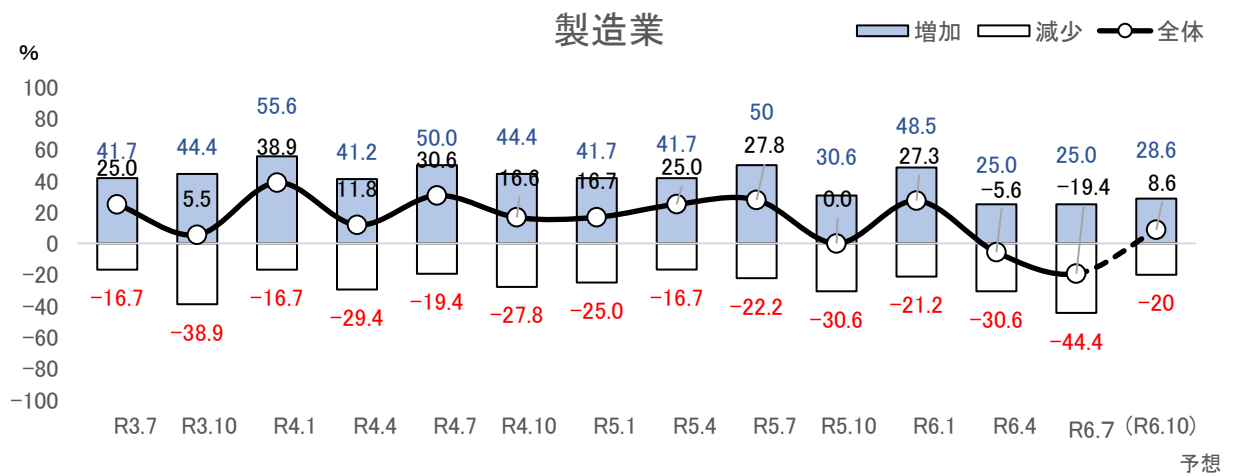
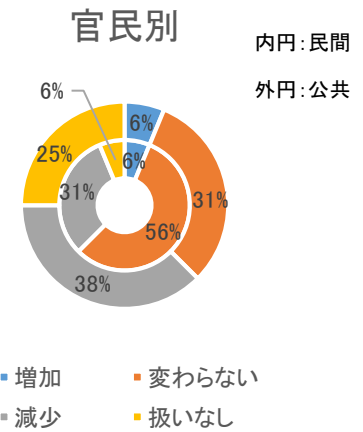
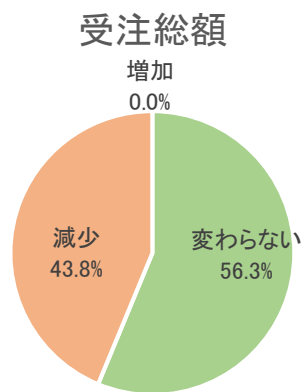
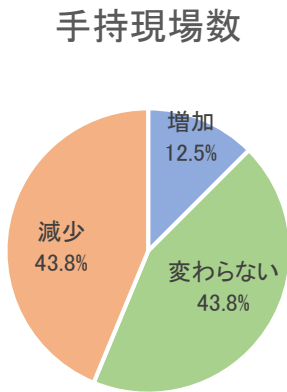
## 2 売上高・受注高 ー前年同期との比較、今後3か月の予想ー

全体では-11.0ポイントと前回比でほぼ横ばいとなっています。建設業、宿泊・飲食業は前回に比べ回復している一方、卸・小売業、製造業では悪化しています。建設業と製造業、サービス業ではマイナス回答の方が多い結果となっています。単価や販売価格の増加、受注増加の一方で、卸・小売業では平日の売上伸び悩み、製造業では半導体関係の停滞などの声もあがっています。全体の今後の見込みは若干の回復を予想しています。

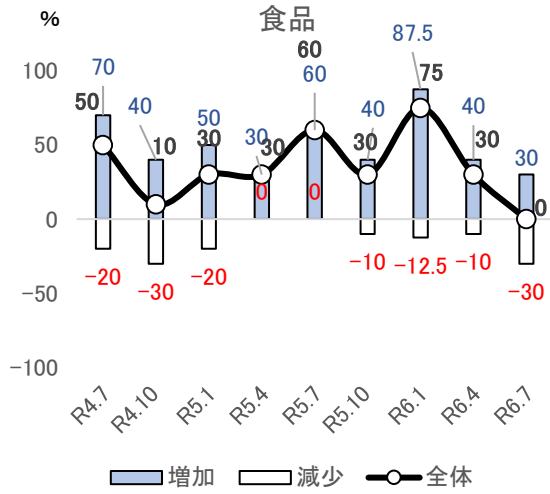
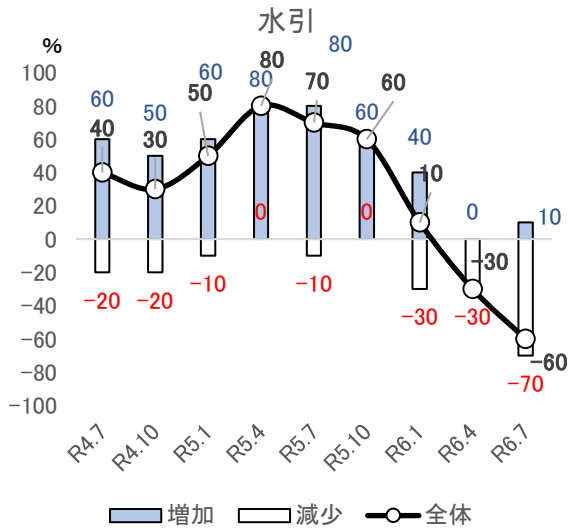




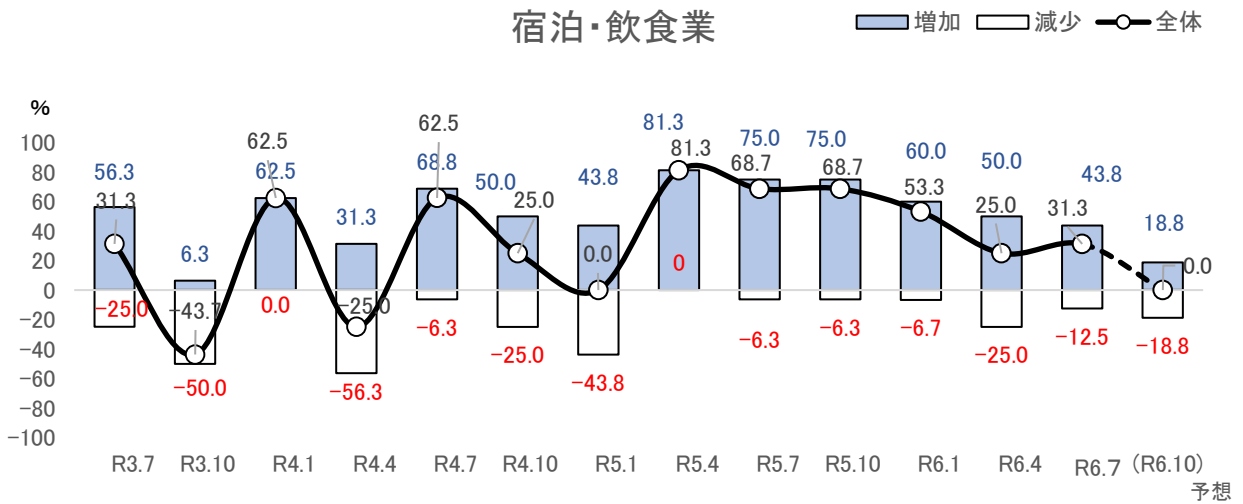
(建設業)



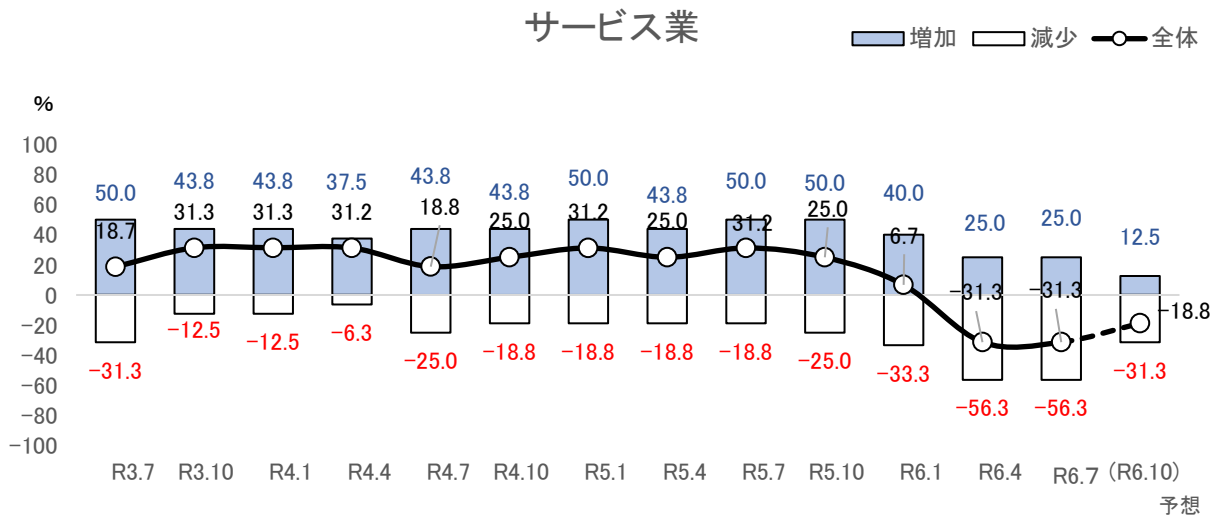
(伝統産業)



宿泊・飲食業



サービス業



(主なコメント)

- ◆ 増加要因
- ・販売価格をアップしたため(卸・小売)
- ・機械入替のタイミングと合って受注が多かった(卸・小売)

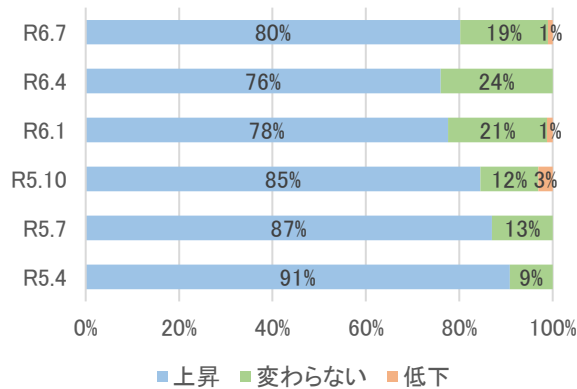
- ・夜の飲食店関係は徐々に回復してきている(卸・小売)
- ・消費単価が上がっている(卸・小売)
- ・大型工事が2件確保できた(建設)
- ・郵送関連の仕事増(製造)
- ・新規受注数件あり(製造)
- ・旅行客の増加、値上げ(製造)
- ・生産は減少しているが売価は増加(製造)
- ・値上げによる単価上昇(宿泊・飲食)(サービス)
- ・来客数の増加(宿泊・飲食)
- ・5月はGW中が天気のおかげで若干増(宿泊・飲食)
- ・自動車整備のレバレート(基本工賃)の値上げ、車検基本料の値上げ(サービス)
- ・5～6月に団体旅行が増加(サービス)
- ◆減少要因
- ・震災以降、平日の売上が伸びない(卸・小売)
- ・去年と比べるとエアコン等夏物が減少(卸・小売)
- ・新規建設の現場数が減少しているため(建設)
- ・半導体関係は動いていない、少し減少している(製造)
- ・飲食店・スーパーの閉店による取引先の減少(製造)
- ・中国の影響による減少(製造)
- ・去年は特需があったためもとに戻った、前年がよかった反動(製造)
- ・儀式的簡略化(製造)
- ・コロナ前までは戻らない(宿泊・飲食)
- ・人員不足による受注制限により受注量減少(サービス)
- ・取引先である製造業の調子がよくない(サービス)
- ・客数は増加しているが、川が浅かったため長いコースが使えず単価が下がった(サービス)
- ・人口減少による顧客の減少(サービス)
- ・取引先の受注減が継続している(サービス)
- ◆今後3ヶ月予想
- (好転)
- ・昨年と比べて人が出ると思う(卸・小売)
- ・5月の稼働が16日しかなかったため、7月からは好転すると思われる(建設)
- ・6月から好転した(製造)
- ・3～4月下げ止まり感(製造)
- ・工作機械関連は低調なので、その他分野の仕事を受注する(製造)
- ・FAや半導体が動き、後半に回復するかどうか(製造)
- ・10%値上げ 7月から(宿泊・飲食)
- ・客単価から客足数を伸ばす戦略に移行していく(サービス)
- ・工賃単価アップ(サービス)
- (悪化)
- ・住宅ローン金利の上昇による需要減少が予想される(建設)
- ・工事量自体は減少している。長野県の予算は前年比30%減。今後も厳しいことが予想される(建設)
- ・消費マインドの冷え込み(製造)
- ・取引先小売店の減少(製造)
- ・団体客の減少の影響(宿泊・飲食)
- ・景気そのものが良くない(宿泊・飲食)
- ・気温が高くなると昼の売上伸びない(宿泊・飲食)
- ・受注減が継続すると思う(サービス)

### 3 コストの状況 —前年同期と比べて—(全体)

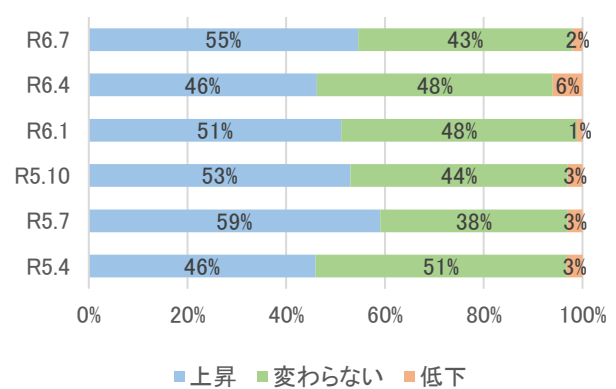
前回まで上昇回答は徐々に割合が減少していましたが、今回は全ての項目で上昇回答が増加しています。

原材料のコスト上昇の背景として円安による輸入関連製品の価格高騰の声も目立っています。人件費ではベースアップや人材確保に加え物価高騰に伴う賃上げ、下請単価でも賃上げの影響がみられます。

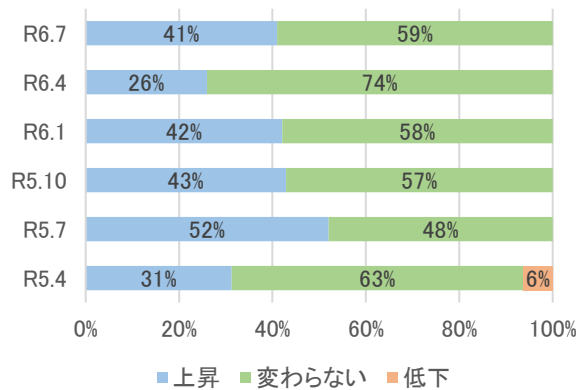
## 原材料



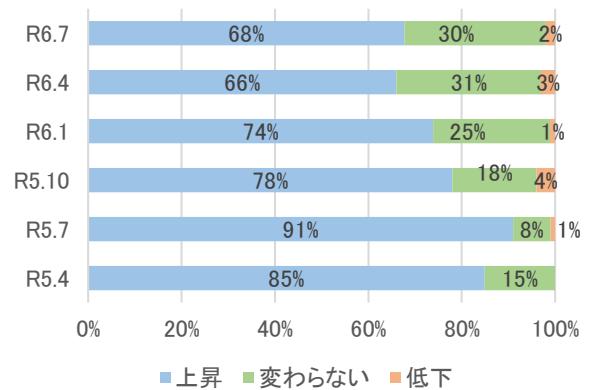
## 人件費



## 下請単価



## その他経費



### 【主なコメント】

#### ◆原材料

- ・円安によるコストアップ(卸・小売)(製造)
- ・物価上昇(卸・小売)(製造)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・輸入系商品の上昇(卸・小売)(宿泊・飲食)
- ・運送コストの上昇(建設)
- ・生コン鉄骨材も価格上昇(建設)
- ・部品代、溶接工材などの消耗品原価の値上げ(建設)
- ・資材が全般的に値上がり(建設)
- ・ハンダの値上がり3割程度、比重は低いが(製造)
- ・肉の単価アップ(製造)
- ・ステンレス価格上昇(製造)
- ・仕入先である中国の値上げ(製造)
- ・石油関係商品の値上げ(製造)
- ・紙、包装資材(PP類)の価格上昇(製造)
- ・特に国産米の価格上昇(製造)
- ・大豆・麦の価格上昇(製造)
- ・バター・チョコレートなどほぼすべて上がっている(製造)
- ・燃料高騰(サービス)
- ・溶剤値上がり(サービス)
- ・バス、宿泊、飲食の全てが値上がりしている(サービス)

#### ◆人件費

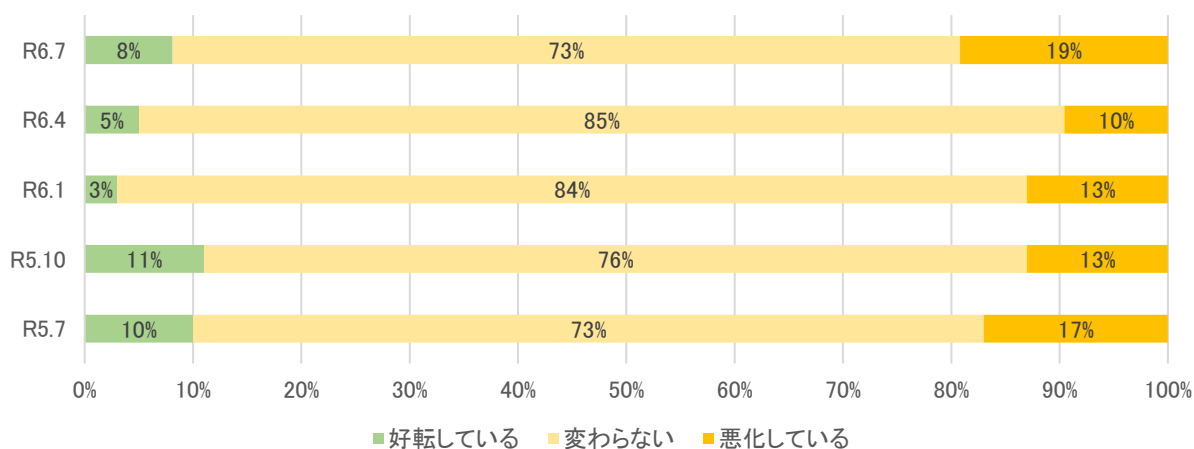
- ・物価高騰に伴う賃上げ(卸・小売)
- ・賞与や福利厚生面でのコスト上昇で人件費も上昇(卸・小売)
- ・人材確保(卸・小売)(製造)(宿泊・飲食)
- ・福利厚生面を含めると上昇(建設)
- ・ベースアップ(建設)(製造)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・昨今の情勢を鑑み、定昇分を上乗せした(製造)
- ・残業増(製造)
- ・物価高を受けての賃金アップ(製造)(サービス)
- ・最低賃金の上昇(製造)
- ・中途採用の給料を上げる際に今までの人の給料も上げなければならない(製造)

- ・時給アップ(宿泊・飲食)
- ・引き続き派遣さん費用がかさんでいる(宿泊・飲食)
- ・昇給及び派遣に係る人件費の値上り(サービス)
- ・賞与のアップ(サービス)
- ・中小企業にも賃金見直しの圧を感じる、いい人財を確保、定着させるためにはやむを得ない(サービス)
- ◆下請け単価
  - ・値上げ要請(製造)
  - ・円安及び協力工場の賃上げによる上昇(製造)
  - ・下請け先最低賃金の上昇(製造)
- ◆その他経費
  - ・削減に努めている(卸・小売)
  - ・全般的な上昇(卸・小売)(製造)
  - ・運賃の上昇(卸・小売)(製造)
  - ・配送コストを抑えるため、配達は1回にまとめたりして、対策を取っている(卸・小売)
  - ・燃料代上昇(建設)(宿泊・飲食)(サービス)
  - ・光熱費の高騰(製造)(宿泊・飲食)
  - ・公共料金等上昇(製造)
  - ・ロシア・ウクライナ戦争の影響で包材関係の上昇(製造)
  - ・光熱費の高騰(宿泊・飲食)
  - ・ボイラーの燃料代が上がった(宿泊・飲食)

#### 4 資金繰りの状況 —前年同期と比べて—(全体)

好転している、悪化しているともに増えており、特に悪化しているが19%と多くなりました。好転ではコロナ禍からの回復などの声もありますが、悪化では各コスト増加の影響などがあがっています。

資金繰りの状況



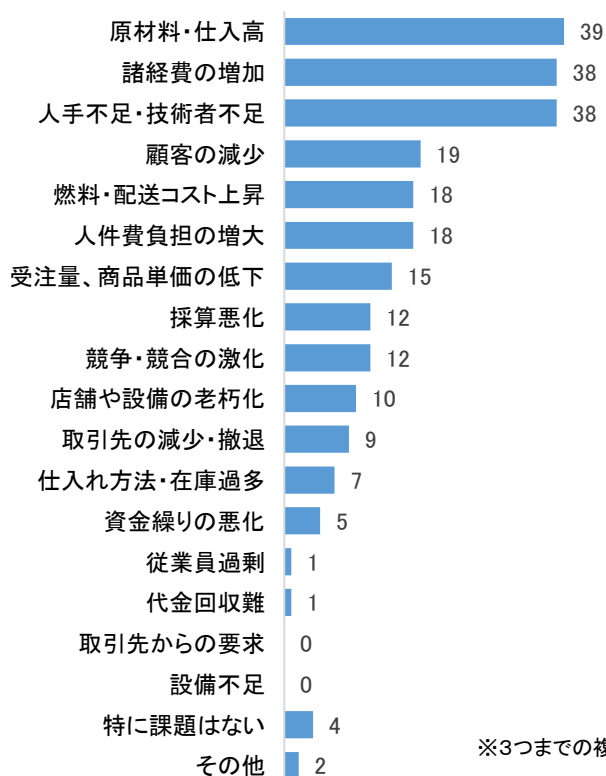
#### 【主なコメント】

- ・コロナ期がとて悪く、9割程度回復。その間経費の見直し等も行ったため、今期は回復傾向(卸・小売)
- ・請求してから支払いがあるまでに1~2カ月かかる(建設)
- ・人件費・原材料の高騰の影響が大きい(製造)
- ・OTAによる広告宣伝費の増加が影響している(宿泊・飲食)
- ・客単価アップによる売上高増(サービス)

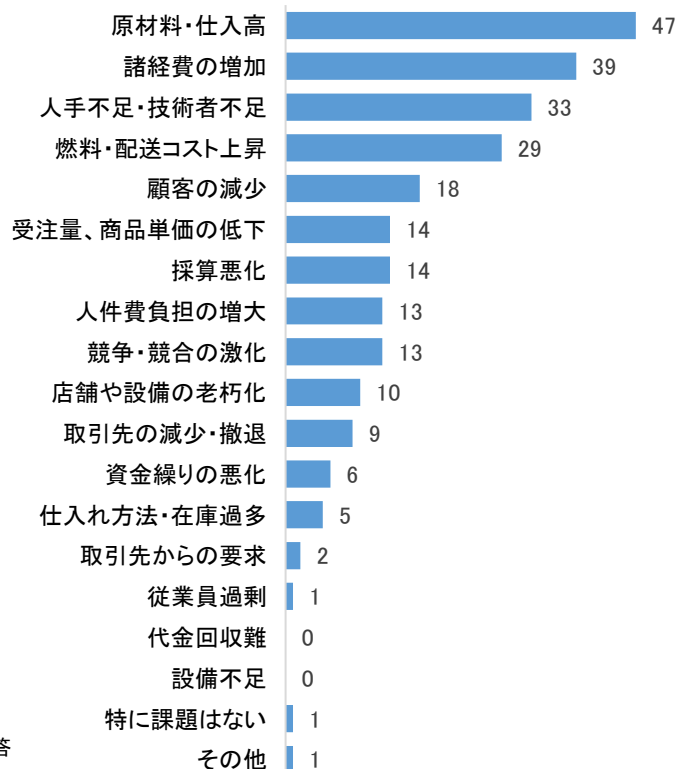
## 5 経営上の課題

原材料・仕入高、諸経費の増加、人手不足・技術者不足の回答が引続き多い状況にあり、いずれも4割近くの事業者が課題にあげています。また人件費負担の増大が増えており、賃上げ等による固定費増加も新たな課題として現れてきています。人手不足・技術者不足では人材確保が困難、採用が難しいといった声も引続きあがっています。燃料・配送コスト上昇の回答は減っています。

【 R6.7 】



【 R6.4 】



※3つまでの複数回答

### 【主なコメント】

- ・運賃上昇とともにトラック不足(卸・小売)
- ・外注に出そうと思っても周りも高齢になってきているのもあり、人数が少なくなっている(建設)
- ・キャパオーバーによる失速(製造)
- ・昔はUターンを採用できたが、新卒及び中途も地元採用が難しい(製造)
- ・多品種少量生産なのでロボットに代替が難しく人の手はいる(製造)
- ・人材確保が困難になっている(製造)
- ・人材募集をかけても反応がないので、ギリギリで回している感じ(宿泊・飲食)
- ・原材料及び光熱費の上昇、人件費負担の増大により採算悪化(宿泊・飲食)
- ・夏以降の賃金アップ、油脂類の7月からの値上げが予想される(サービス)
- ・事業の縮小(サービス)
- ・地代、補助金の返済(サービス)



## 6 円安基調の影響・設備投資について

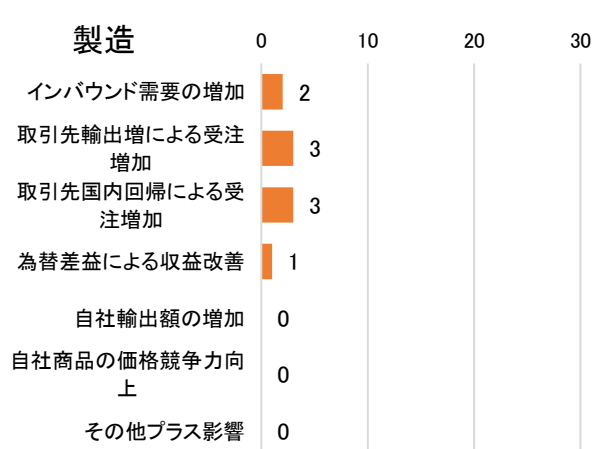
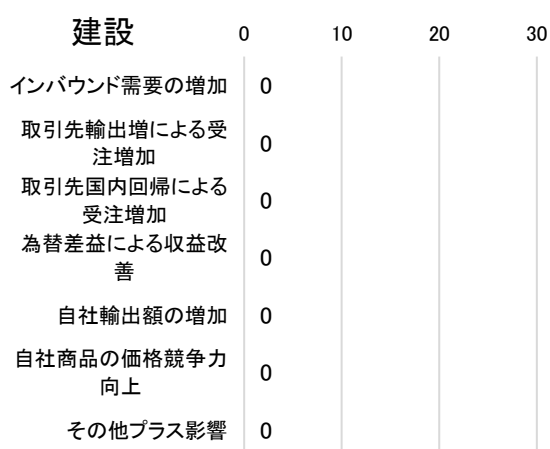
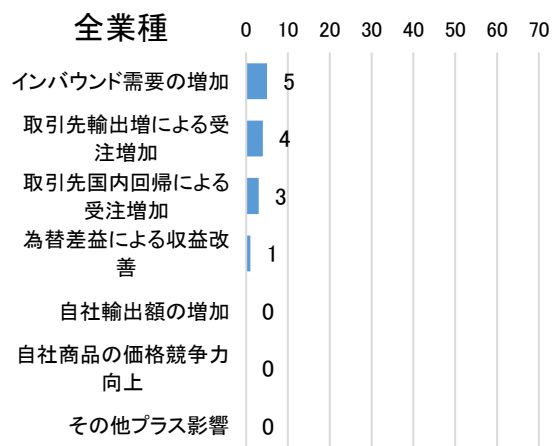
円安基調についてはプラス影響をあげたのが 12 社、マイナス影響は 78 社でありマイナス影響を受けている事業者が多くなっています。プラス影響では製造業での取引先輸出増などがあげられ、マイナス影響では原材料等仕入価格、燃料・エネルギー価格の高騰があげられ、コスト上昇分を価格転嫁できない事業者も多くなっています。

望ましい為替レートについては、分からないが 44%と最多となっており、120 円以上～130 円未満が 19%、次いで 100 円以上～110 円未満、110 円以上～120 円未満がともに 10%となっています。

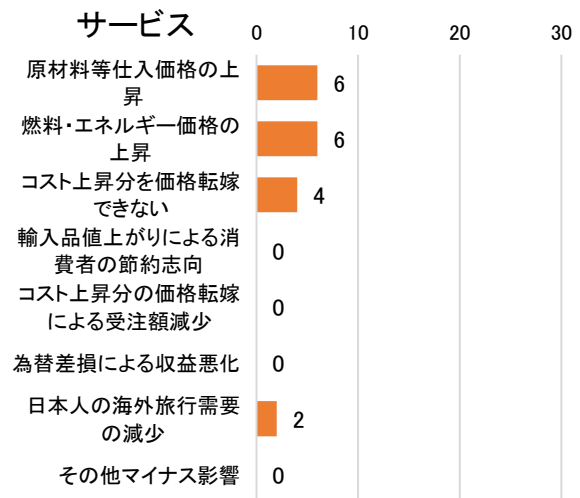
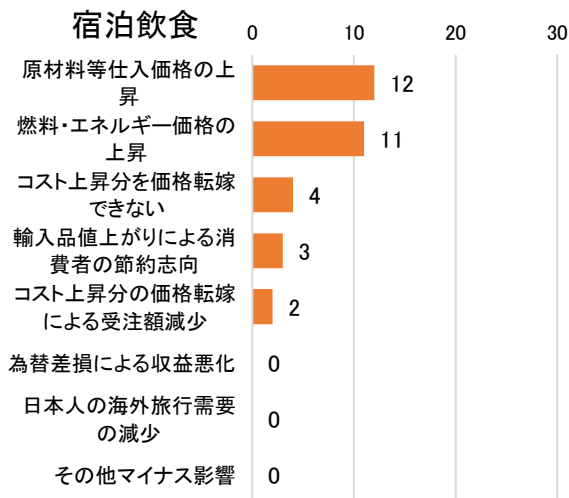
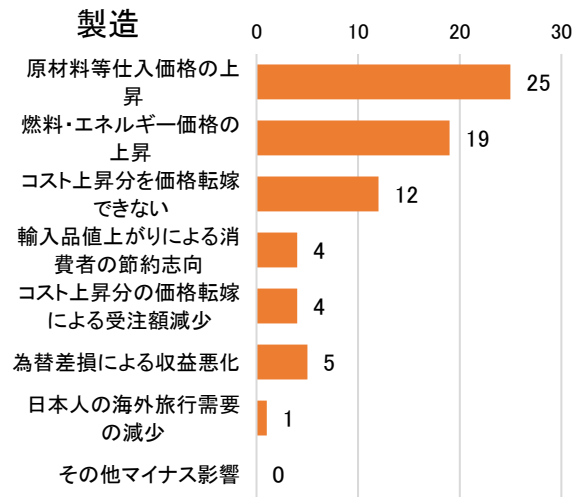
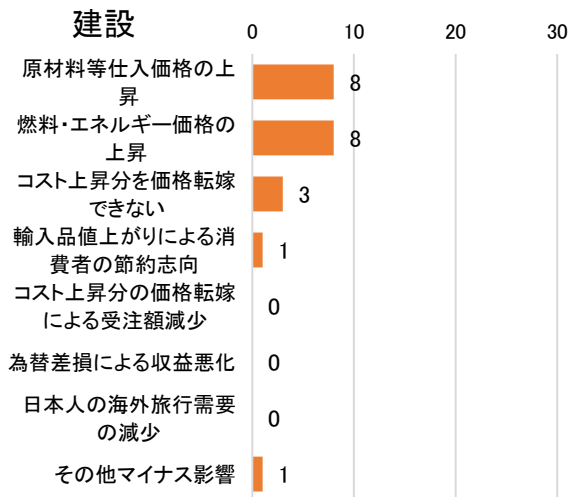
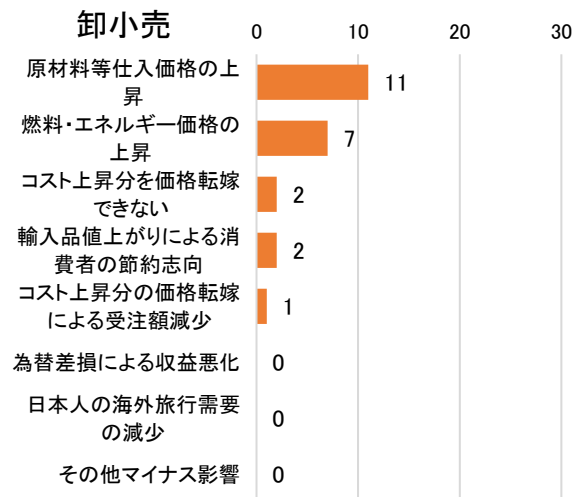
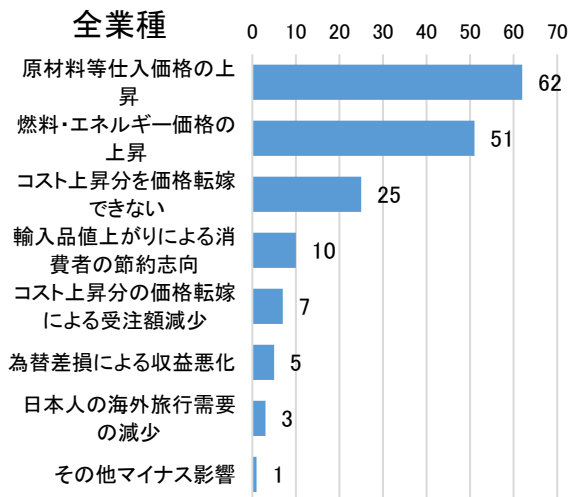
2024 年度に設備投資をする予定については、予定はないが 45%ありますが、予定がある 32%と検討中 23%を合わせると 55%であり、約半数の事業者で設備投資を考えている状況といえます。予定している設備投資の内容については、設備の入替や交換・更新、既存設備の維持・補修の順の回答になっています。次いで増産・販売力強化、省力化・合理化、設備のDX化・IT化など生産性向上につながる投資の回答もあがっています。

一方で設備投資を行わない理由については、現状の設備で充分であるが最も多いですが、先行きが見通せない、投資に見合う収益が見込めないなどにより、設備投資を躊躇する回答も見られます。

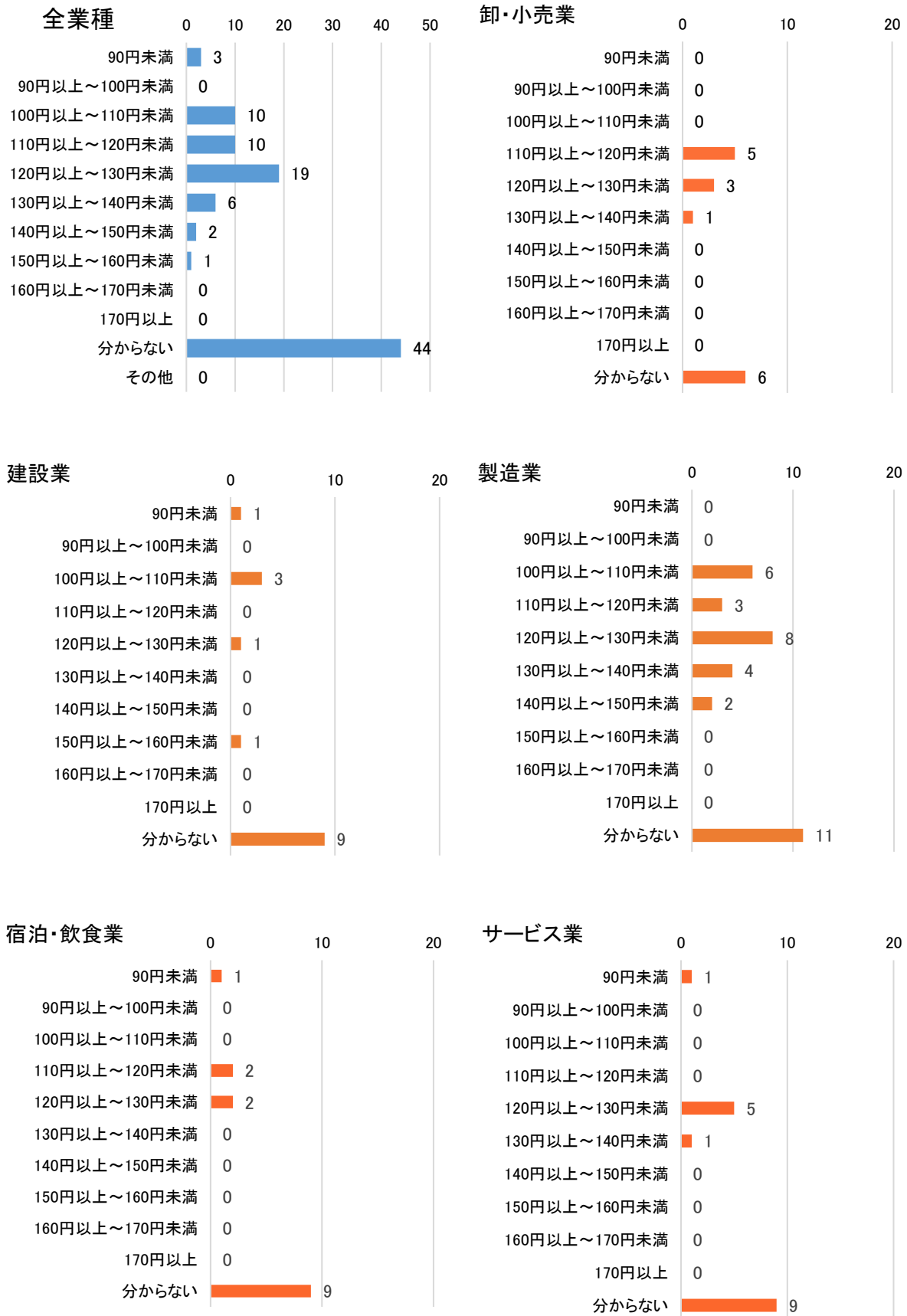
## (1)円安基調 プラス影響



## (1)円安基調 マイナス影響

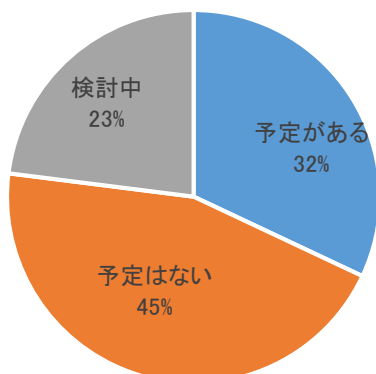


## (2)望ましい為替レート(円・ドルレート)

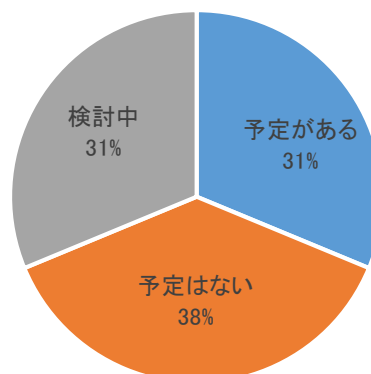


### (3)2024 年度に設備投資をする予定

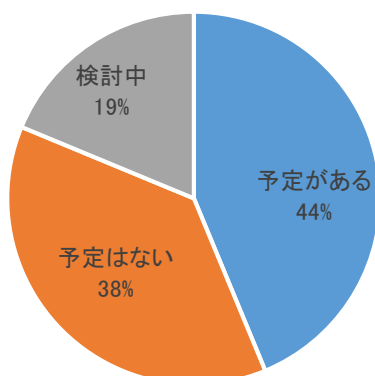
#### 全業種



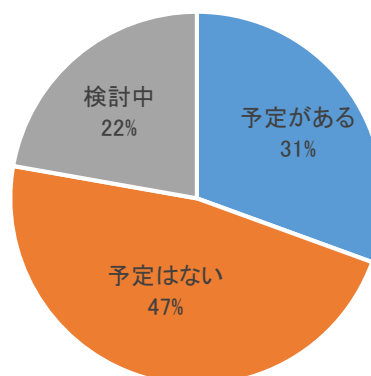
#### 卸小売



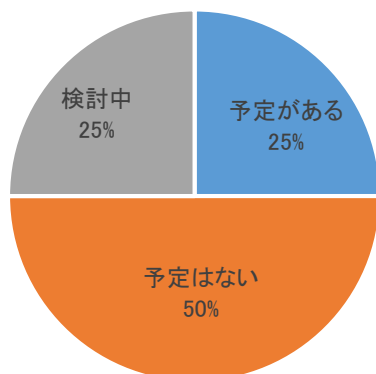
#### 建設



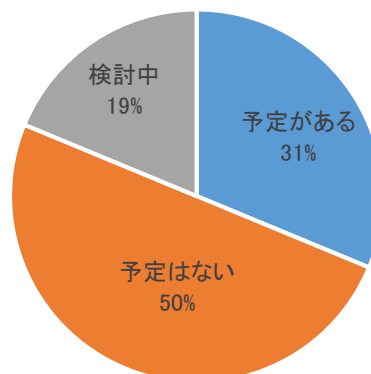
#### 製造



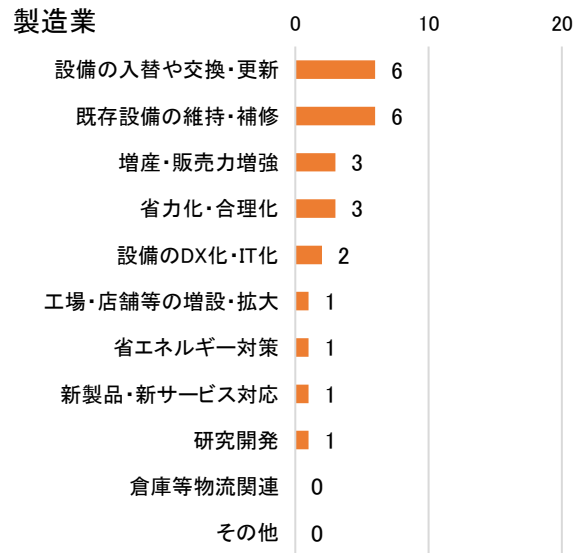
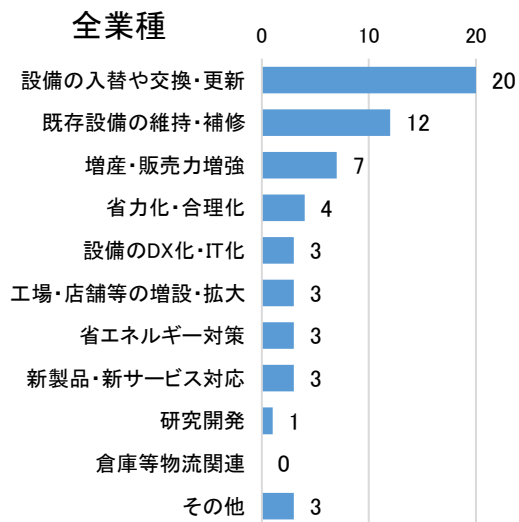
#### 宿泊飲食



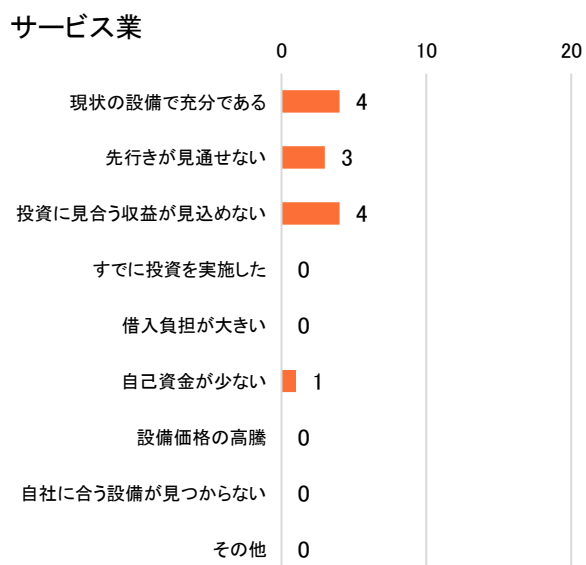
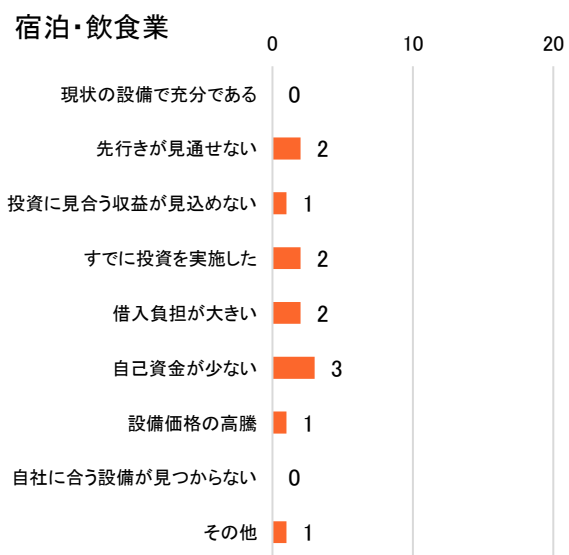
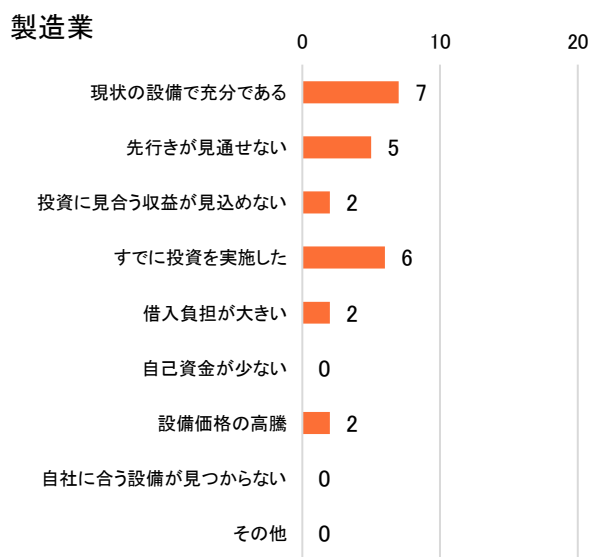
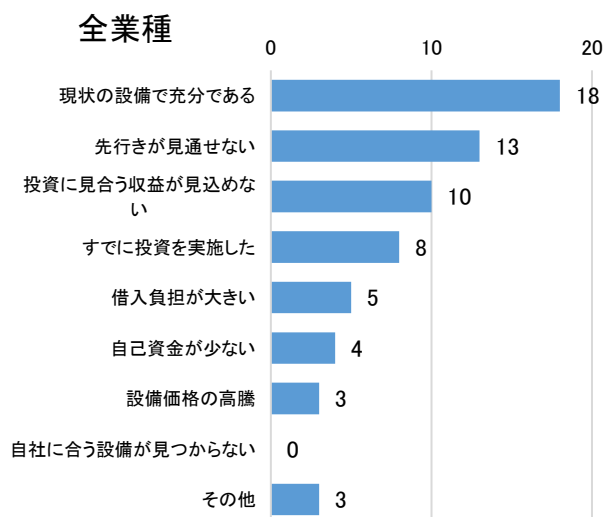
#### サービス



#### (4) 予定している設備投資の内容



## (5)設備投資を行わない理由



- 円安基調の影響 プラス影響「その他」の内容  
(無し)
- 円安基調の影響 マイナス影響「その他」の内容  
(無し)
- 望ましい為替レート「その他」の内容  
(無し)
- 設備投資の内容「その他」の内容
  - ・営業車(建設)
  - ・機械を1つ、新家屋に導入する(製造)
  - ・不動産(宿泊・飲食)
  - ・防犯カメラ(宿泊・飲食)
- 設備投資を行わない理由「その他」の内容
  - ・後継者不在(建設)
  - ・設備投資より、修繕を優先(宿泊・飲食)

【その他ご意見等】

- ・内需を増やす政策が必要(卸・小売)
- ・外国人材登用後の当人への研修のための補助が欲しい(卸・小売)
- ・支部の存続と維持、支部連の活動について会議所の関心を高めてほしい(卸・小売)
- ・いいむす 21 で環境問題に取り組み始めた(建設)
- ・集客方法に頭を悩ませている。OTAに頼ったクーポン発行がいいのか、独自のサービスを確立させてくのがいいのか、よく研究したい(宿泊・飲食)
- ・補助金を使つての客室工事を予定している(宿泊・飲食)

【自動車メーカー認証不正問題の影響・懸念】

- ・影響はないが、自動車は日本の基幹産業であるから、下請け含め、誇りを持って頑張ってもらいたい(卸・小売)
- ・トヨタ車 2 台注文、6 月末頃に納車予定だったが、生産が止まっている(建設)
- ・型式が少ないので大きな影響はないが、一部注文がなくなり、一部ラインを止めている(製造)
- ・影響が大きいわけではないが、生産が止まっている取引先がある(サービス)
- ・部品製造会社の旅行受注が、業績悪化のため減っている(サービス)